



ふわふわ通信

仙台市立鶴が丘小学校
生徒指導通信
令和3年10月14日
第5号

第2回いじめアンケート結果



9月に行われた「第2回いじめアンケート」で「いじめられている」と回答した児童への聞き取り、指導、保護者への連絡等が全て終わりましたので、ご報告させていただきます。

今回、アンケートで「いじめられている」と答えた児童は、8名でした。1年生1名（男子）、2年生1名（男子）、3年生4名（男子）、4年生1名（男子）、5年生1名（女子）でした。

いじめの内容（複数回答あり）は、「悪口や嫌なことを言われた」・・・3名、「軽く蹴られた」・・・2名、「自分の持ち物にいたずらをされた」・・・1名「嫌なことや恥ずかしいことをされた」・・・1名、「その他」・・・2名。

今回のいじめの特徴は、加害児童は、「ふざけて・・・」「軽い気持ちで・・・」など、相手をひどく傷つけようとしたわけではないけれども、その軽い気持ちが結果的に相手を傷つけてしまっていることです。「ふざけ」とは、とても怖い考えです。無自覚のいじめも、今、問題になっています。どんなに「ふざけて」でも、人を傷つけてはいけません。いじめをする側は軽い気持ちでも、される人は、とても嫌な気持ちになるものです。どんなときも「相手の嫌がることはしない」ことや、「相手を思いやる心」を学校、家庭、地域協働で、育てていきたいと思えます。

いじめの「解消」について

仙台市のいじめ対応のルールとして、いじめを認知した日から3か月間、何もなかったことを確認して、初めてその事案は「解消」として扱います。

6月に行われた「第1回いじめアンケート」で認知した事案が3ヶ月を過ぎました。いじめを受けた児童、一人一人に、生徒指導主任と担任とで、事実確認を行い、いじめが継続していないか、現在困っていることはないか確認しました。全事案、現在まで続いているものはありませんでした。よって、全案件、「解消」を確認しました。なお、各事案が再発しないように気を付けて見ていきます。

不審者に注意！

日の入りの時刻が早くなり、あっという間に暗くなる季節となりました。遊びに夢中になっていると、すぐに暗くなってきます。また、習い事の帰りも、気付くと辺りが暗くなっていた・・・ということがあるかも知れません。不審者は、どこにいるか分かりません。どのタイミングで現れるかも分かりません。遊びや習い事から帰るときは、複数で帰る、家の人に迎えに来てもらうなど、十分気をつけてください。



